

第5世代移動通信システム(5G)総合実証試験 のご紹介

～5Gによる地域課題の解決～

概要

ATRは多くのパートナー様と共に、第5世代移動通信システム(5G)の特徴を活用したユースケースを検討し、全国7か所で、実機を用いたフィールドトライアルを実施してきました。今回は、畜産、サラブレッドの育成、スポーツ観戦の3つの分野に関する試験の内容をご紹介します。

特徴

- 28GHz帯の周波数を用いて、上り方向に端末あたり300Mbpsを超える高速通信が可能であることを示しました。
- 実際の現場で実証試験を行いました。(今回のパートナー：KDDI、早大、宮崎大、上士幌町、とかち村上牧場、東大、シャープ、新冠町、日高軽種馬共同育成公社、ジュピターテレコム、データスタジアム、Knows、テクタイト)
- 畜産、サラブレッドの育成、スポーツ観戦において、大容量データ伝送を行うアプリケーションを想定した実証試験を行い、5Gの有効性を示しました。

今後の展開

- 5Gの超高速通信によって、人手不足を解消し、遠隔地からの専門家の支援を強化すると共に、エンターテインメントの幅を広げ、地域課題の解決、地場産業の振興に貢献します。

対コロナへの関連

- 鮮明な映像の伝送とAIによる画像分析によって遠隔からの監視を使いやすく便利にすると共に、自宅でのスポーツ観戦の楽しみを増やし、アフターコロナのライフスタイルをより豊かなものにします。



実証試験1：酪農・畜産業の高効率化



実証試験2：軽種馬育成産業支援



実証試験3：選手と観客に一体感をもたらすスポーツ観戦

連絡先：適応コミュニケーション研究所 担当 横山 浩之 E-Mail:hr-yokoyama@atr.jp

本技術試験は、総務省「屋内において端末からの上り平均300Mbpsを超える超高速通信を可能とする第5世代移動通信システムの技術的条件等に関する調査検討の請負」により実施しました。